# 図書館だより

開館時間（共通）9：00 ～ 17：30
問 中央図書館　☎ 0558-76-5566
問 韮山図書館　☎ 055-949-8605
URL　http://www.izunokuni.library-town.com/

## 今月のおすすめ

一般【中央】

**ぼくらはアン**
伊兼源太郎／著
東京創元社

無戸籍、ヤクザの息子、不法滞在者…複雑な境遇にある子どもたちの大切な存在を奪った殺人事件。十数年後、弁護士事務所で働く諒佑のもとに幼馴染の誠の捜索依頼が。

一般【韮山】

**真・慶安太平記**
真保裕一／著
講談社

度重なる改易で主家を失い、幕府に恨みを抱く牢人があふれる江戸市中に現れた兵法者・由比正雪。その恐るべき企みとは。作家生活30年記念書下ろし大河歴史小説。

一般【中央】

**あなたに安全な人**
木村紅美／著
河出書房新社

教え子をいじめ自殺に追いやってしまったかもしれない元教師の妙と、デモの警備中に参加者を死なせてしまったかもしれない便利屋の忍。女と男の孤独で安全な逃亡生活。

一般【韮山】

**闇祓**
辻村深月／著
ＫＡＤＯＫＡＷＡ

澪はクラスになじめない転校生・要に親切に接するが、家の周りに出没したり不審な行動に恐怖を覚える。先輩・神原に助けを求めるが…。著者初の本格ホラー・ミステリー。

## 新着本コーナーから

| | | |
|---|---|---|
| 一般 | **失われた岬** | 篠田節子／著【中央】 |
| 一般 | **シリウスの反証** | 大門剛明／著【中央】 |
| 一般 | **幻の旗の下に** | 堂場瞬一／著【韮山】 |
| 一般 | **レインメーカー** | 真山仁／著【中央】 |
| 一般 | **らんたん** | 柚木麻子／著【韮山】 |
| 一般 | **ボクもたまにはがんになる** | 三谷幸喜／著【韮山】 |

### 1月の図書館カレンダー

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | ◇1 |
| ◇2 | ◇3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ☆8 |
| 9 | ○10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | ○17 | 18 | 19 | ☆20 | 21 | ☆22 |
| 23 | ○24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | ○31 | | | | | |

○中央休館日　□韮山休館日
◇両館休館日　☆おはなし会

### 1月のおはなし会

中央図書館　8日（土）11：00 ～
韮山図書館　8日（土）14：00 ～
　　22日（土）14：00 ～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
20日（木）10：10 ～
※予約制　☎ 0558-76-1346

## お知らせ

**パスワードをご利用ください**

図書館のHPから利用者カード番号とパスワードでログインすると、自分が借りているものや予約しているものを確認できます。

今、借りているものに予約がなければ1回に限り延長もできます。貸出期限内なら手続きをした日から2週間延長します。

蔵書検索した結果から予約もできます。各館の利用者用検索端末でも利用できます。

パスワードがない人は、図書館カウンターで利用者カードと身分証を提示してください。



# 文化財通信

その199

## 伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡
## 第13回　北条義時をめぐる人々と伊豆の国市
〔番外編①〕

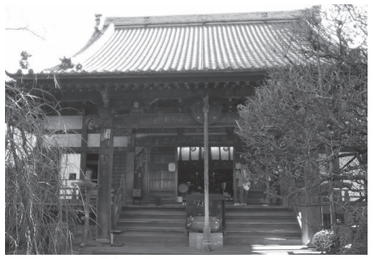
問 文化財課　☎ 055-948-1428

これまで義時の生涯や関連する文化財などについてお話ししましたが、今回から2回ほど、義時の人柄がわかるエピソードを紹介します。

鎌倉幕府が成立した頃の義時は、源頼朝に側近として仕えていました。頼朝から特別に厚い信頼を受けた若手の家臣11人の1人に選ばれ、寝所の警護を行っていました。また、頼朝の主催する巻狩では、「弓馬に達者な者22人」にも選ばれました。

それでは、頼朝と義時の信頼関係や親しさを語るエピソードを『吾妻鏡』から取り上げてみましょう。

『吾妻鏡』は、鎌倉幕府の記録を詳細に記した歴史書ですが、時には人柄を垣間見られる話も盛り込まれています。



宝戒寺（鎌倉市小町）
義時の小町邸は宝戒寺周辺にあったとされ、義時の死後も代々北条家嫡流に受け継がれた

義時が30歳くらいのことです。武蔵国の御家人、比企氏の娘で、「姫の前」という大変美しい官女（幕府に勤める女官）がいました。義時は姫の前に恋をして、何度も手紙を送りましたが、相手にされませんでした。それを知った頼朝が仲介して、義時が「決して離婚はしません」という誓約書を書くことによって結婚が成立したという話です。

現代の社内結婚にも通じる、なんとも微笑ましいエピソードです。2人の間には、朝時、重時という2人の子どもが生まれましたが、10年後に北条氏と比企氏が敵対する「比企の乱」が起こったことにより、離縁となりました。その後の姫の前の消息はわかっていません。

もう一つは、頼朝の有名な浮気問題、「亀の前事件」の話です。寿永元（1182）年ですから、まだ頼朝が鎌倉を本拠地として間もない頃、「亀の前」という女性と浮気し、鎌倉郊外の小坪（逗子市）に住まわせていました。このことを継母である牧の方から聞いた政子が激怒し、亀の前の住まいを牧の方の父（または兄）である牧宗親に命じて破壊させました。（※）

今度は頼朝が怒り、宗親を激しく叱責し、屈辱を与えたと言います。そうなると、牧の方、そして夫である時政も黙っていられません。頼朝に当てつけるように、家臣たちを連れて伊豆に引き上げてしまいました。

挙兵以来の大事な後ろ盾である時政を怒らせたことに慌てた頼朝は、義時の態度が気になります。すぐに義時が鎌倉に留まっているかを家臣に確認させ、呼び寄せました。そして、義時に向かって、「私の気持ちを察して、父に従わなかったことは感心なことだ。今後、源氏の子孫を守ってくれるだろう。褒美は追って与えよう。」と話しかけました。義時は何も意見を言わず、「かしこまりました」と言って退出したということです。義時を信頼し、頼りに思う頼朝と、頼朝に忠実な義時の立場がよくわかるエピソードです。

※中世から近世にかけて、先妻または本妻が、後妻や側室の家を襲撃する「後妻打ち」という風習があった。政子の行動はこの風習によるものという説もある。